

教育と福祉と医療の連携について

②学校（特別支援学級）と放課後等デイサービスの連携について

学校 → 放課後等デイサービス	放課後等デイサービス → 学校
<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの日々の変化を知りたい 例) 母親の妊娠、出産 例) 旅行へ出かけた ■放課後等デイサービスがどのような活動をしているのか 知りたい ■放課後等デイサービスの職員と話す機会がない 	<ul style="list-style-type: none"> ■送迎の時に先生がいてくれる学校では、児童にいつもと違う様子があれば教えてもらっている ■担任の先生に障害福祉サービスの<u>制度を知ってほしい</u> ■担任の先生に受け持ちの子が利用している放課後等デイサービスや計画相談の<u>事業所を知ってほしい</u> ■夏休み期間中の研修や放デイの発表会を交流の場に行かないか



顔の見える関係づくり

- 案) 放課後等デイサービスの職員と学校の担任が交流する機会の設置
- 案) すくすくファイル（草案）を学校と放課後等デイサービスに試用してもらい双方の情報交換について意見交換
- 案) 医師会に「すくすくファイル」や発達気になる子が利用できるサービスや放課後等デイサービスの活動を紹介

③学校（市立高校、市内大学）と就労系サービスの連携について

課題：就労に結びつかない、就労しても継続できない

方法：自分に合った就職先を選択する、就職後に相談できる場所を認識しておくために、就労移行支援事業所、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型の各連絡会から学校あてに、サービス内容や制度の説明等の情報提供を行い、児童の卒業後の相談先や選択肢のひとつとして紹介する。

学校（市立高校、市内大学）と就労系サービスの多職種研修を実施し事例検討をとおして支援方法を検討する。